



鎌倉市観光データ分析レポート

2023年度

総評

国内外を含めた来訪者数においては、**4月～6月、11月、1月**に増加し、**7月～9月、2月**に減少。桜や紫陽花、紅葉と各シーズンにおいて共通して名所となっている寺社が多く、国内外を含めた来訪者数増加に大きな影響を与えた。観光案内所でのインバウンド利用者は、夏季休暇の影響か、**7月～8月**において月次で7,000人前後に。更に**10月、3月**もそれぞれ月次で7,000人を超える来所があり、年間を通して高水準を記録した。アジア圏、ヨーロッパ圏によって異なる増減時期にも注目したい。

また、年間を通して集客力の高いイベントや**季節性の高い情報**への注目度が高く、各ランキングにて関連するページやワードが複数ランクインしていた。

4～6月

全てのエリアにおいて4月は3月に比べ来訪者数が減少し、5月は回復。**6月**は紫陽花の影響で、特に「**北鎌倉**」と「**長谷**」が大きく増加。

また、イベントや季節性のある情報への注目度が高く、協会HPのPV数では4月は「鎌倉まつり」、5・6月は紫陽花関連のページが上位にランクイン。観光案内所におけるインバウンド来所者数では、**4月**は『ヨーロッパ』、**6月**は『アジア』が多かった。

7～9月

7月から9月にかけて全体の来訪者数が減少する中、外国人観光客の観光案内所利用者数は**7月から8月にかけて増加**。しかし、オフシーズンの影響か、9月は来訪者数、インバウンドともに減少。

PV数においては、7・8月は**海水浴場**に関する情報に高い注目が集まり、9月は「**小町通り**」や「**銭洗弁財天宇賀福神社**」などの定番の観光スポットが上位にランクインした。

10～12月

全体の来訪者は**10月から11月**にかけて微増したものの、12月はいずれのエリアも微減し、再びオフシーズンの傾向。各ランキングで**紅葉**関連のページやワードがランクインしており、10月、11月における来訪増の一因と考えられる。

関連して、**鎌倉の紅葉の見頃は11月下旬～12月**になることが多く、関心が集まるタイミングとズレがあることも伺える。観光案内所におけるインバウンド来所者数は、日本全体の訪日外客数が11月～12月にかけて右肩あがりになる一方で、鎌倉の場合、ヨーロッパの大幅減の影響が大きく、**10月から12月にかけて急激な右肩下がり**となっている。上記より、秋の紅葉シーズンの訴求等検討の余地があると考えられる。

1～3月

来訪者数は1月初旬に増加し、**初詣**の影響が色濃くみられる。特に「鎌倉駅周辺」の1月初旬の来訪者数が高い水準で推移しているとともに、各ランキングにおいても初詣に関するサイトやワードがランクイン。

2月は来訪者数が**全体的に減少**。観光案内所におけるインバウンド来所者数は、アジアが他月と比較しても同水準を保っていたのに対し、ヨーロッパは12月、1月に引き続き低水準となりオフシーズンとなった。

3月は**桜の開花**のシーズン、行楽シーズンに突入し、**2月に比べ約1.8倍と大きく増加**した。

各ランキングでは桜関連のページやワードはランクインしていないが、**春の鎌倉**への**インバウンド**からの高い関心が伺えた。

来訪者の状況

どのくらい人が来ていた？

紫陽花の見頃を迎えた6月は、「**北鎌倉**」「**鎌倉駅周辺**」「**長谷**」の来訪者数が他の月に比べ高水準で推移。

また、**紅葉**の11月は、「**長谷**」「**北鎌倉**」において、来訪者数が多くなっている。

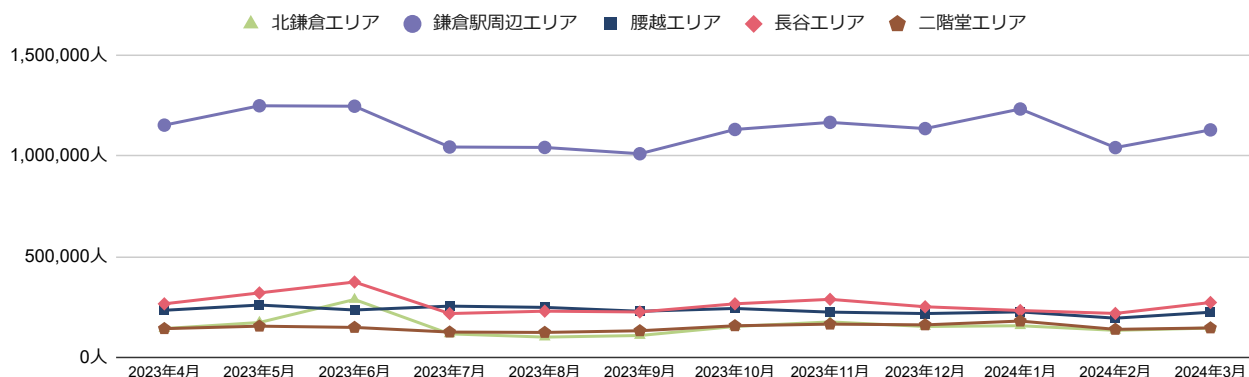
「**北鎌倉**」には明月院、「**長谷**」には長谷寺など周辺に紫陽花・紅葉の名所があることが影響していると考えられる。

「**長谷**」においては、他の月に比べ**3月・6月・11月**に来訪者数が大きく増加しており、他エリアに比べ、**季節の花や風景の見頃**に関連した動きをしている。

「**腰越**」以外の全てのエリアにおいては7月から9月、全てのエリアにおいては2月の来訪者数が低水準で推移しており、オフシーズンの傾向がみられる。

※2024年3月の人流アナリティクスの仕様変更により、2024年2月データより、計測・集計方法が異なる

主要5地点 来訪者数



来訪者の状況

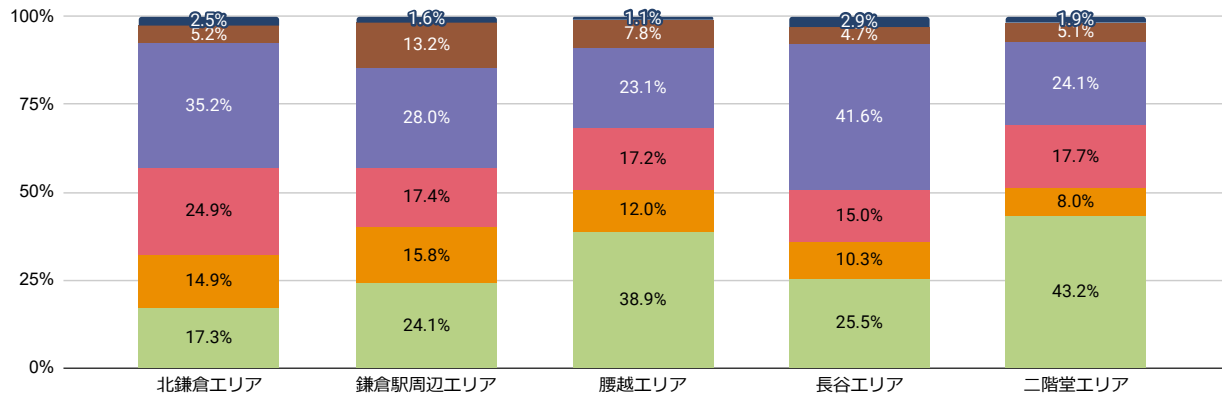
どこから
来ていた？

20km以上遠方から来訪している「外来者（20km以上）」の割合が高いのは「北鎌倉」「鎌倉駅周辺」「長谷」で、特に「長谷」は『外来者（20km以上）』の割合が4割以上で、**遠方からの来訪が多い傾向**がみられた。また、「北鎌倉」は他エリアに比べ『鉄道圏（5～20km）』の割合が最も高く、**県内からの来訪が多い状況**が見てとれた。

「腰越」「二階堂」においては、1.5km範囲内の近場から来訪している『徒歩圏（1.5km未満）』の割合が最も高く、特に「二階堂」は『徒歩圏（1.5km未満）』の割合が4割以上で、住民等の移動が多いと考えられた。

■ 徒歩圏(1.5km未満) ■ 自動車圏(1.5～5km) ■ 鉄道圏(5～20km)
■ 外来者(20km以上) ■ 勤務地徒歩圏(1.5km未満) ■ 勤務地自動車圏(1.5～5km)

主要5地点 来訪者の出発圏割合



データ出所：クロスロケーションズ（株） 人流アナリティクス

インバウンドの状況（外国人観光客の観光案内所利用状況）

外国人観光客
は、どこの国
が多かった？

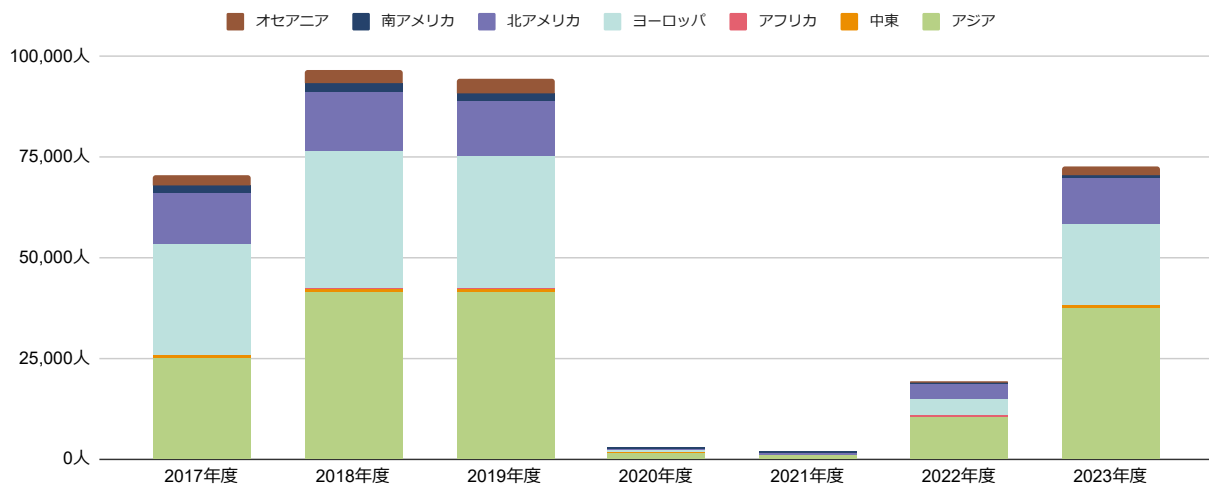
◆2023年度 全体傾向：観光案内所を利用した外国人の数は、2017年度から2018年度に大幅に増加し、2019年度も順調に伸びていたところ、新型コロナウイルスの流行で2020年度には激減。その後、2022年度からは復調し、**2023年度には来所数がインバウンド全体で71,133人となり、2017年度と同水準まで回復した。**国別では、**中国**が最も多く全体の約16%を占めた。次いで**米国、韓国**が多かった。

◆2023年度 月別傾向：インバウンドは**7～8月、10月、3月に増加**し、各月7,000人超の来所があった。10月にピークを迎えた後、**11月～12月にかけて激減**し、その後は2月まで4,000人台で推移しており、オフシーズンの傾向が伺える。
月次の来所数は**平均約5,900人だった。**

◆アジアの傾向：『アジア』の利用者数は年間を通して2,000人から4,000人の間を推移。4、5月が中国からの入国規制継続等の影響で伸び悩んだ一方で、**7・8月は夏季休暇の影響もあってピーク**を迎えた。両月とも「中国」のみで1,500人を超えており、アジア圏からの来所者数を底上げした。その後9月に一度落ち込むも、10月以降は大きな変動はなく、**全体がオフシーズンとなる冬季も3,000人前後をキープした。**

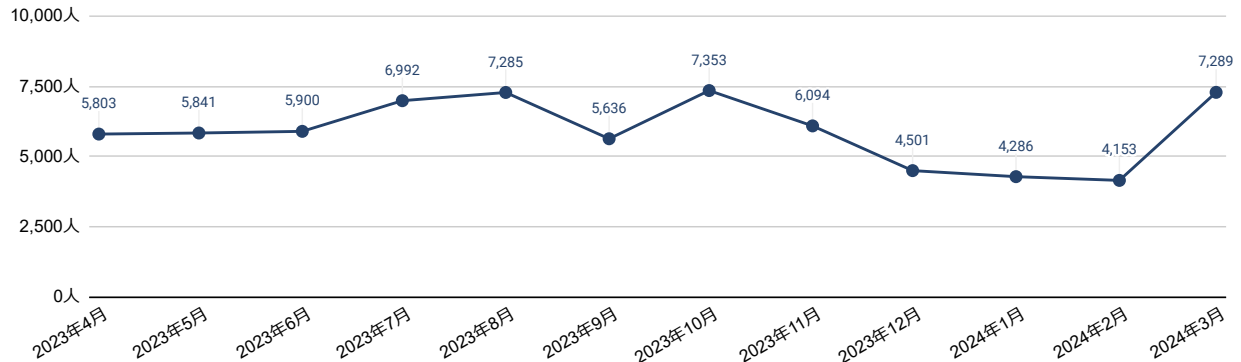
◆ヨーロッパの傾向：『ヨーロッパ』の利用者数は500人台から3,000人台で推移し、季節間で大きく増減。アジア同様に夏季休暇の影響か、**7月から8月にかけて右肩上がりに増加**し、8月でピークを迎えた。**12月～2月は顕著にオフシーズンの傾向**が見られるが、**3月は、春季の長期休暇や桜の影響か、前月から約3.6倍急増**した。

外国人観光客観光案内所利用 年別構成数（地域）

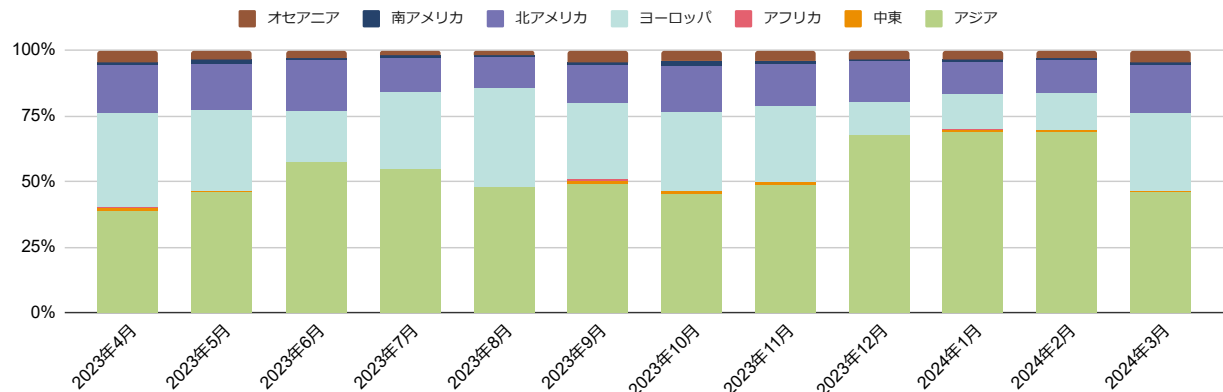


インバウンドの状況（外国人観光客の観光案内所利用状況）

外国人観光客観光案内所利用 月別総数推移



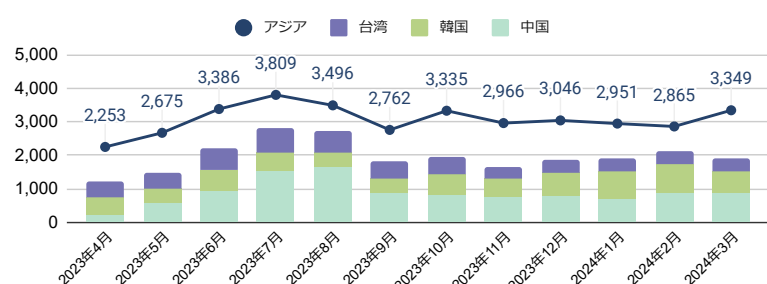
外国人観光客観光案内所利用 月別総数推移（地域）



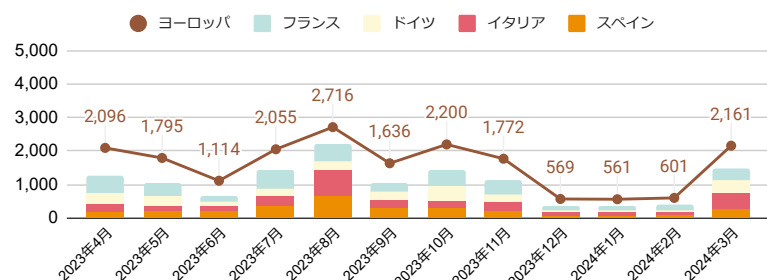
外国人観光客の観光案内所 国別利用者 年間TOP10

順位	国名	利用者数	比率
1	中国	11,454	(15.7%)
2	米国	8,753	(12.0%)
3	韓国	7,143	(9.8%)
4	台湾	5,969	(8.2%)
5	フランス	4,446	(6.1%)
6	イタリア	3,607	(5.0%)
7	スペイン	3,362	(4.6%)
8	香港	3,223	(4.4%)
9	タイ	2,917	(4.0%)
10	ドイツ	2,653	(3.6%)

アジア全体と中・韓・台の推移



ヨーロッパ全体と仏・独・伊・西の推移

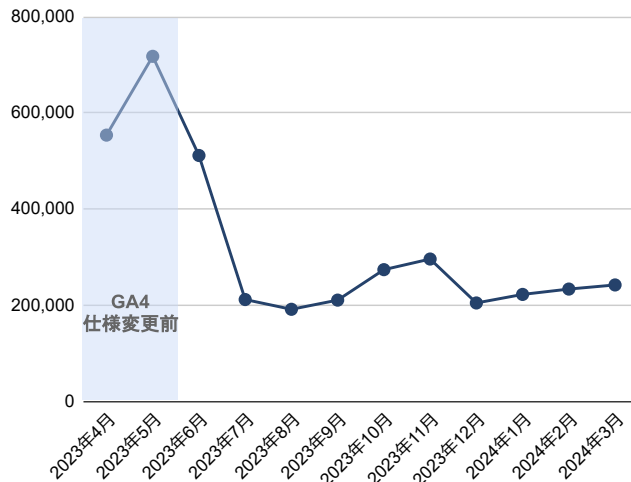


観光協会HPページビュー・鎌倉関連ワードランキング

観光協会HPで 人気のある ページは？

年間のPV数を見ると、1位のトップページは順当にランクイン。
PVランキングにおいても、2位の「明月院（あじさい寺）」や3位の「あじさいの開花状況について」、9位の「【紅葉情報】鎌倉市内の色づき状況について」など、上位に紫陽花や紅葉等、**季節性**の高いページが複数ランクイン。紫陽花・紅葉関連ページは6月や11月の月次ランキングにも上位に挙がっていたが、年次においても紫陽花・紅葉への注目度の高さが伺えた。その他、アクセスやモデルコース、パンフレット等のトピックがランクインしており、**鎌倉周遊に関する情報についてニーズが高い**ことが伺える。
※Googleの仕様変更により、2023年5月調査以前はUA、2023年6月分よりGA4で計測しているため、計測・集計方法が異なる

観光協会HP PV数



単位：PV数（計測期間2023/4/1～2024/3/31）

観光協会HP PVランキング

順位	ページ名	PV数
1	時を楽しむ、旅がある。～鎌倉観光公式ガイド～（トップページ）	658,807
2	明月院(あじさい寺)	375,357
3	《7月3日更新》あじさいの開花状況について	296,152
4	小町通り	139,752
5	銭洗弁財天宇賀福神社	135,451
6	【アクセス】鎌倉観光、どう行く？どう巡る？	114,717
7	鎌倉観光で訪れたいスポット、モデルコースをご案内	102,537
8	鎌倉観光のおともに。観光パンフレット＆資料をどうぞ	100,576
9	【紅葉情報】鎌倉市内の色づき状況について	77,050
10	ハイキング・モデルコース	72,628

単位：PV数（計測期間2023/4/1～2024/3/31）

どんなワード検索から観光協会HPに 流入している？

観光協会HP 流入検索ワードランキング

月別の集計においても常に上位を占めていたワードが多くランクイン。
「**鎌倉大仏**」や「**小町通り**」などは、月別の集計においても常に上位にランクインしており、年間を通じた定番の観光スポットへの人気の高さが伺える。
また、9位に「**由比ヶ浜**」がランクインしており、**海開き**など**海水浴場**に関する情報への注目度が高かったと考えられる。

順位	流入キーワード	表示回数	クリック率
1	鎌倉	2,548,114	(1.32%)
2	鶴岡八幡宮	967,908	(0.90%)
3	鎌倉 観光	863,085	(15.66%)
4	鎌倉殿の13人	709,588	(0.48%)
5	長谷寺	628,172	(1.23%)
6	鎌倉大仏	410,381	(1.61%)
7	鎌倉市	363,423	(0.68%)
8	小町通り	327,115	(14.67%)
9	由比ヶ浜	309,711	(0.80%)
10	鎌倉駅	287,242	(0.68%)

単位：表示回数（ ）内はクリック率
ただし、1位の「鎌倉 バスタ」と2位の「バスタ」は飲食店の屋号だったため3位を繰り上げ表示している

データ出所：Google Serch Cosole2024/5/13時点

Google上で最も検索された 鎌倉に関するワードは？

Googleトレンドランキング

「**鎌倉 ランチ**」や「**鎌倉 カフェ**」などの**食**に関するワードは、月別の集計においても常に上位にランクインしており、安定した注目度の高さが伺える。
1位には「**鎌倉 天気**」、2位には「**鎌倉 観光**」がランクインしており、**鎌倉への訪問を検討する材料**として多く検索されたと考えられる。

順位	トレンドキーワード	スコア
1	鎌倉 天気	77
2	鎌倉 観光	62
3	鎌倉 ホテル	61
4	鎌倉 ランチ	47
5	鎌倉 時代	42
6	鎌倉 殿 の 13 人	41
7	鎌倉 カフェ	37
8	鎌倉 江ノ島	35
9	鎌倉 幕府	34
10	大仏 鎌倉	33

単位：1位を100としたときのスコア（計測期間2023/4/1～2024/3/31）
ただし、1位の「鎌倉 バスタ」と2位の「バスタ」は飲食店の屋号だったため3位を繰り上げ表示している

データ出所：Google トレンド2024/5/13時点